

# 公益信託 小野音響学研究助成基金

## 令和2年度 研究助成応募要項

「公益信託小野音響学研究助成基金」は、音響学分野の研究に携わっている若手研究者に対し研究費を助成することによって、我国の科学技術の発展に寄与することを目的として故小野義一郎氏他を委託者として設立された基金です。

令和2年度（第28回）の応募要項は次のとおりです。

### I. 研究助成対象

1. 分 野 音響学に関する分野
2. 対 象 者 大学・研究機関等に所属して、音響学の研究に携わっている若手研究者。（応募時の年齢が40才以下とする）

### II. 助成の概要

1. 助成件数・金額 5件程度 1件 100万円以内。
2. 助成金の使途 助成金の使途は別表に示すとおりです。  
但し、研究を有効に推進し、優れた成果を挙げるために必要な経費であれば、厳格な使途の制限はありません。
3. 助成対象者の決定 助成対象者は、運営委員会において厳正な審査の上、令和2年3月中に決定し通知します。
4. 助成金の交付 助成金は、令和2年4月中に助成対象者へ贈呈します。  
※委任経理とする場合、助成金による間接経費の支払いはできません。
5. 助成対象者の義務 令和3年1月末日までに研究の進捗状況及び助成金の使途（見込みを含む）を報告いただきます。

【裏面へ続く】

### Ⅲ. 選 考

選考は、次の運営委員で構成する運営委員会で行います。

委 員	小野 隆彦	(東京農工大学客員教授)
〃	小林 隆夫	(東京工業大学工学院教授)
〃	詫間 晋平	(国立特別支援教育総合研究所名誉所員)
〃	橘 秀樹	(東京大学名誉教授)
〃	中村 健太郎	(東京工業大学科学技術創成研究院教授)
〃	原 文雄	(東京理科大学名誉教授)
〃	山崎 芳男	(早稲田大学名誉教授・東京都市大学教授)

<五十音順>

### Ⅳ. 応募手続き

1. 応募方法 当基金所定の申請書に必要事項を記入の上、学部長(所属する部局長)の推薦をうけて(申請書の推薦欄をご利用下さい)、当基金事務局あてご送付下さい。

申請書は三菱UFJ信託銀行HPに掲載されております。

URL : [https://www.tr.mufg.jp/shisan/kouekishintaku\\_list.html](https://www.tr.mufg.jp/shisan/kouekishintaku_list.html)

2. 応募締切日 令和2年1月10日(金)(必着)

3. 採否の結果 令和2年3月中に書面にてお知らせします。  
なお、ご提出いただきました申請書、添付書類などは返却致しませんので、あらかじめご承知おき下さい。

4. 問い合わせ先 <公益信託小野音響学研究助成基金事務局>  
〒164-0001東京都中野区中野3-36-16  
三菱UFJ信託銀行リテール受託業務部  
公益信託課 小野音響学研究助成基金担当  
Tel 0120-622-372(フリーダイヤル)  
(受付時間 平日9:00~17:00 土・日・祝日等を除く)  
Fax 03-5328-0586  
e-mail koueki\_post@tr.mufg.jp  
(件名には基金名を必ずご記入下さい)

以上

## 研究助成金費目一覧

1. 謝金
  - (1) 研究協力者謝金  
共同研究者以外の協力者からの助言、協力に対する謝金
  - (2) 研究補助者謝金  
研究活動に必要な資料整理、測定、実態調査、集計作業等の研究補助作業に対する謝金
2. 消耗品費  
研究のための一般事務用文具、分析・測定用の試薬・試料、試作のための部材、部品等消耗品費
3. 旅費
  - (1) 国内旅費  
研究のため片道100kmを越える出張（調査・会議出席等）に伴う交通費、宿泊費、雑費（通信費、運搬費等）
  - (2) 海外旅費  
研究のための出張（調査・会議出席等）に伴う交通費（渡航費、現地交通費等）、宿泊料、食事料、雑費（通信費、運搬費、保険料等）
4. 器具備品費  
研究のための機械・器具の購入費、備品費
5. その他
  - ※研究のための設備、器具、備品等の賃借料、コンピューターの賃借料、プログラムの賃借料
  - ※会議費（茶菓子、弁当代を含む）
  - ※研究のための図書、文献、マイクロフィルム、写真等の資料費
  - ※研究のための調査票、調査マニュアル、集計表の印刷及び複写費、研究成果印刷費
  - ※研究のための交通費（片道100km未満の日常的な移動のための経費）
  - ※その他の諸経費

以上

公益信託 小野音響学研究助成基金 直近の採用研究テーマ

採用年度	No.	研究テーマ
平成 29 年度	107	健康管理のための腸音に基づく腸運動機能評価技術の開発
	108	人工内耳装用者における時間・周波数情報と優位半球の関連の検討
	109	512ch高速1bit信号を用いた没入型三次元音場創生システム
	110	高速非線形音響波の利用によるポンプ損傷抑制に向けた革新的技術の理論的基盤創成
	111	空中超音波を用いた青果物の非接触柔らかさ計測に関する研究
平成 30 年度	112	騒音で冷却できる環境調和型ヒートポンプシステムの開発
	113	高騒音作業環境で安全かつ正確に音声を伝えるための骨導ヘッドフォンの実現
	114	強散乱体からの超音波後方散乱波に着目した肝臓内音速推定法に関する研究
	115	水流由来の振動が植物の根系の発達に与える影響
	116	大脳皮質における信号音検出に必要な生理機構の解明
平成 31 年度	117	空気圧アクチュエータのためのアクティブ共鳴相殺制御による大型ステージの精密位置決め制御法
	118	超音波と微細気泡を用いた混合液体分離技術の開発
	119	中耳再建素材の最適化プラットフォーム構築に関する研究
	120	他元素ドーパIN圧電膜および高音速層の物理定数算出とその膜を用いた層構造基板縦型漏洩弾性表面波デバイスの開発